

2026年度 第2学期 客員教授等ゼミナール予定表

(2026年10月23日現在)

情報の追加や変更は、その都度、掲示および奈良学習センターウェブサイトに掲載します。毎月、翌月の確定した予定を掲示および奈良学習センターウェブサイトに掲載しますので、必ず確認をお願いします。
(こちらの掲載は、月初めからの基本曜日順とさせていただきます。)

中澤 静男（客員教授）教育学（ESD、SDGs） 第2水曜日 10：30～12：00 Z308講義室 （持参すべきもの：なし）	
内容紹介：地球的な課題である環境問題、平和・国際問題、食糧問題はつながっています。課題を希望に変えるのは、私たち一人一人です。私たちの暮らしは地球的な課題に影響され、また、影響を与えています。 アピール：SDGsに代表される地球的諸課題と受講生の皆さんの暮らしを関連付け、行動化を促します。	
10月14日（水）	ESDと貧困・食糧問題
11月11日（水）	これからの教育とウェルビーイング
12月16日（水）	消費行動を考える：エシカル消費と環境ラベル *講師の都合により第3水曜日に変更
1月20日（水）	世界遺産の教材化：石見銀山遺跡・紀伊山地の霊場と参詣道 *講師の都合により第3水曜日に変更
2月10日（水）	脳科学の援用：ソマティック・マーカー仮説とグリア細胞
3月10日（水）	ESDの社会実装：奈良SDGS学び旅
市来 百合子（客員教授）臨床心理学 《集中講座》木曜日 9：30～14：40 Z308講義室 ※事前申込要（開催1週間前まで）	
11月12日（木）	「教育相談の基礎」 （持参すべきもの：なし）
1限目：9：30～11：00 2限目：11：10～12：40 3限目：13：10～14：40	
内容紹介：学校臨床において1対1で子どもと話をする基本的な技法を学びながら、自身のコミュニケーションのスタイルについても考えます。ロールプレイなどを通して、「主体的・対話的で深い学び（ロールプレイやディスカッション）」により参加者のみなさんとともに考えます。	
2月18日（木）	「心理臨床における非言語的なアプローチ体験」 （持参すべきもの：彩色画材（クレヨンやクレパス・クーピーなど）のうち1種類・スティックのり・はさみ）
1限目：9：30～11：00 2限目：11：10～12：40 3限目：13：10～14：40	
内容紹介：心理臨床の中で描画等の非言語的なアプローチと技法について、実際に体験し、他者とともにリフレクションしながら学びます。一方的な解釈を伝えるのではなく、「主体的・対話的で深い学び（ロールプレイやディスカッション）」により、参加者みなさんとともに考えていきます。	
野村 鮎子（所長）中国文学、中国女性／ジェンダー史 第1金曜日 10：30～12：00 Z308講義室 （持参すべきもの：できれば漢和辞典、無でも可）	
内容紹介：近年の気候変動で、将来日本から四季がなくなるのではと囁かれています。しかし、草花は季節を決して忘れませんし、人のこころの動きも季節の変化と無関係ではありません。この授業では、日本人が慣れ親しんできた四季を詠じた漢詩を丁寧に読み、ゼミの参加者みんなで味わいます。 アピール：文芸の世界に浸ることが目的ですので、漢詩や漢文が苦手という方でも大歓迎です。漢和辞典があれば持参いただけると理解が深まりますが、なくてもかまいません。	
10月2日（金）	漢詩で楽しむ四季6－仲秋の詩
11月6日（金）	漢詩で楽しむ四季7－晩秋の詩
12月4日（金）	漢詩で楽しむ四季8－除夜の詩
1月1日（金）	無し
2月5日（金）	漢詩で楽しむ四季9－新春の詩
3月5日（金）	漢詩で楽しむ四季10－初春の詩

鈴木 則子（客員教授）日本史学	
第2金曜日 10:30～12:00 Z308講義室 （持参すべきもの：なし）	
内容紹介：古代から近現代の日本通史を、最新のジェンダー史研究の成果に依拠して見ていきます。テーマは政治経済・服飾・宗教・女子教育・売買春・軍隊など多岐にわたります。既存の日本通史をジェンダー史から読みなおすと、新しい歴史像が見えてきます。 アピール：2025年度二学期に行った日本ジェンダー史通史の講義以降、さらに深化・多様化してきたジェンダー史研究の現在をご紹介します。	
10月30日（金）	古代社会とジェンダー *講師の都合により第5金曜日に変更
11月13日（金）	中世社会とジェンダー 1
12月11日（金）	中世社会とジェンダー 2
1月8日（金）	江戸時代の労働・芸能とジェンダー
2月12日（金）	戦前の女子教育と労働
3月12日（金）	敗戦から戦後の社会とジェンダー

西川 明彦（客員教授）古代工芸学	
第3金曜日 10:30～12:00 Z308講義室 （持参すべきもの：できれば中公新書「正倉院のしごと」無でも可）	
内容紹介：前期に引き続き、正倉院の仕事にまつわる話題のうち、宝物の公開と調査、それとオリジナルの宝物があるのにどうして模造を作るのかということについて解説します。 アピール：10月のゼミナールは正倉院展直前なので、そこに展示される宝物のみどころについても話します。	
10月16日（金）	宝物をいかす（公開1）
11月20日（金）	宝物をいかす（公開2）
12月25日（金）	宝物をしらべる（調査1） *講師の都合により第4金曜日に変更
1月15日（金）	宝物をしらべる（調査2）
2月19日（金）	宝物をつくる（模造1）
3月26日（金）	宝物をつくる（模造2） *講師の都合により第4金曜日に変更

岡本 彰夫（客員教授）神道学	
第4金曜日 14:00～15:30 Z308講義室 （持参すべきもの：なし）	
内容紹介：大和の人々が遺してきた「物」や「事」と通じてその思いや背景を考えてみたいと思います。 アピール：出来るだけ参考資料をお持ちして、ご披露出来ればと思っています。	
10月23日（金）	厠の歴史と信仰
11月27日（金）	大和点描 ～ 大和の人といとなみ（Ⅰ）
12月18日（金）	大和点描 ～ 大和の人といとなみ（Ⅱ） *講師の都合により第3金曜日に変更
1月22日（金）	大和点描 ～ 大和の人といとなみ（Ⅲ）
2月26日（金）	奈良と鹿
3月12日（金）	父と母 ～ 親孝行ノススメ *講師の都合により第2金曜日に変更

山崎 祥子（客員教授）有機化学	
第3土曜日 10:30～12:00 奈良国立大学機構第2会議室／Z308講義室 （持参すべきもの：筆記用具）	
内容紹介：2学期は、炭素と炭素をつなぐ基礎的な有機化学反応や、炭素とそのほかの元素をつなぐいろいろな結合形成反応、炭素と炭素の結合を切る有機反応を学びます。さらに有機化合物の構造を決定する分光学などの手法、環境にやさしい有機合成の考え方や具体的な例、有機合成の最先端の研究を紹介します。 アピール：受講生の皆様のご要望にお応えして、ゼミナールを行います。お気軽にご参加ください。マクマリー有機化学、有機化学奥山格監修丸善、ボルハルト・ショアー現代有機化学などが参考図書ですが、なくてもかまいません。	
10月17日（土）	炭素と炭素をつなぐ有機反応
11月28日（土）	いろいろな結合形成反応 *第3土曜日は式典のため第4土曜日に変更
12月19日（土）	炭素と炭素を切る有機反応
1月16日（土）	有機化合物の構造決定
2月20日（土）	環境にやさしい有機合成
3月20日（土）	有機合成の最先端